

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年01月18日(火)

事務事業		障害者施設運営管理事業		担当課	障害福祉課	担当係	給付係	管理番号	3318	
第2次総合計画				事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務		対象拡大	有□	
								サービス拡充	有□	
	行計	大項目	200001	健康でいきいきと暮らせるまち（子育て・保健・福祉）	根拠法令 個別計画等	深谷市生活ホーム事業費補助金交付要綱・深谷市共同生活援助等事業費補助金交付要綱・深谷市生活ホーム事業実施要綱、深谷市在宅重症心身障害児（者）の家族に対するレスパイトケア事業補助金交付要綱				
	政画	中項目	200003	地域で支え合って生活できるまちづくり						
分野策別名	小項目	200003	障害者福祉の推進							
事業概要		数人の障害のある方が共同で生活し、同居あるいは近隣に居住している専任の世話人によって、食事や日常生活に必要なサービスが受けられる施設を設置している事業者に対して、運営費を補助する。								
目的 ※何のために		障害者の自立、地域生活の支援。								
対象 ※誰・何を対象に		18歳以上の身体障害者・知的障害者・精神障害者の手帳を持つ人								
手段 ※どのように		事業所（生活ホーム、共同生活援助）へ運営費等の補助金を交付								
成果 ※何を求めるか		障害者が地域で安心して自立した生活が営めることができるよう住居の提供をする。								
執行体制		■ 市職員 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 市民ボランティア □ NPO民間団体 □ その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		会計区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）		
		一般会計	03	民生費	01	社会福祉費	01	社会福祉総務費	障害者施設運営管理事業	5,819,646
			00		00		00			0
			00		00		00			0
			00		00		00			0
			00		00		00			0
本事業の 主な業務		・ グループホーム運営費補助金の交付							・	
		・ 生活ホーム運営費補助金の交付							・	
		・ レスパイトケア事業補助金の交付							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区 分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		グループホーム運営費補助金交付	グループホーム運営費補助金交付	グループホーム運営費補助金交付	グループホーム運営費補助金交付	グループホーム運営費補助金交付	グループホーム運営費補助金交付
		生活ホーム運営費補助金交付	生活ホーム運営費補助金交付	生活ホーム運営費補助金交付	生活ホーム運営費補助金交付	生活ホーム運営費補助金交付	生活ホーム運営費補助金交付
					レスパイト事業補助金交付	レスパイト事業補助金交付	レスパイト事業補助金交付
事業費	予算（現額）	6,562,000	6,840,000	5,158,000	8,124,000	10,141,000	8,028,000
	決算額	4,579,305	5,348,577	4,410,115	5,819,646	0	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	2,235,000	2,674,000	2,908,000	5,070,000	4,013,000
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	2,344,305	2,674,577	2,206,115	2,911,646	5,071,000	4,015,000
人件費	従事職員数(人)	0.36	0.21	0.23	0.26	0.28	0.28
	人件費相当試算 ※1	2,800,440	1,634,220	1,808,030	2,115,360	2,278,080	2,278,080
		0	0	0	0	0	0
(総事業費試算)		7,379,745	6,982,797	6,218,145	7,935,006	12,419,080	10,306,080

※1 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	障害者施設運営管理事業	担当課	障害福祉課	担当係	給付係	管理番号	3318
<div>■ ① 現状のまま継続 □ ② 見直して継続 □ ③ 拡充・重点化（コスト投入） □ ④ 目的達成による終了 □ ⑤ 廃止を検討</div>		<div>□ 委託化等の検討 □ 成果向上のための改善 □ 効率化のための改善 □ 事業規模の縮小 □ 他の事務事業と統合</div>		評価の内容説明			
上記を実施するための具体的な取り組み内容は？				評価者 障害福祉課長 浅田 朱美			
地域での自立した日常生活や社会生活を希望する障害者が必要な指導・支援を受けながら、地域で生活できる施設の運営を助成することが必要であるので、現在実施している共同生活援助、生活ホーム事業所への助成を継続する。また、令和2年度から開始したレスパイトケア事業への助成についても、今後も継続して実施する。							

7. 改善改革プランと今後の課題

改善・改革案	
--------	--

8. 今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

今後の課題	
-------	--

9. 評価指標グラフ

